

# 紫風

発行所  
山梨県立日川高校  
編集  
新聞部  
写真  
写真部  
山梨市一町田中  
1062

紙面紹介  
1面 SSH第2期へ  
英国語学研修  
奨学金授与式  
2面 全国大会出場部  
紫風祭  
maen  
学食紹介

## 夢は大きく、文武両道

### SSH校のメリットを全校生徒に還元する！

#### 部活だけじゃない日川高校、SSH第二期はじまる。

日川高校は文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）に指定されている。昨年度末第一期5年間の指定が終了し、今年度から第二期に入るようになった。

どんな点がこれまでと違ってくるのだろうか。SSH主任の青野孝文先生に話をうかがった。大きく言うと、SSHの対象になる生徒がクラスから全校生徒に広がるそうである。具体的には新入生から全員が課題研究を行うようになる。課題研究？ 広い意味での科学をテーマに自分

で問題を設定し、研究し発表していく授業だ。この文を書いている記者は文系だ。全員が研究なんて困ってしまう。それについて青野先生は言う。「自然科学の分野に限らず科学的手法に基づく研究法を指導します。論理的に考える力を育て、プレゼンテーション力や表現力を高めます。話を聞いたり、ともに考えたりする中で協調性や社会性を高める効果もあります。」

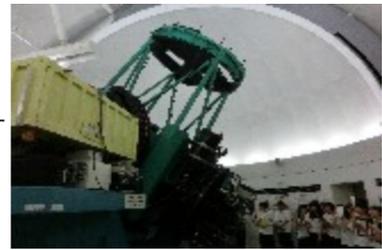
これからの社会で必要とされる力をつけることができそうである。それなら私たちの年次からし

てほしかったものだ。サイエンスツアーも全員を対象に募集するそうだ。サイエンスツアーは科学的な見聞を広める魅力的な企画である。今年度も夏休みにツアーが行われた。

一年生は関東方面へ、二年生は岐阜・愛知方面へ出かけた。年度末にも企画され、二年生は種子島・屋久島方面に出かける。種子島は宇宙センターで研修するが、今年三月のツアーではロケット打ち上げを見ることのでき、非常に感動



3月の2年次の種子島・屋久島へのサイエンスツアー。種子島でロケット打ち上げに遭遇！



ぐんま天文台（1年）



渡良瀬遊水池にて（1年）

N君  
携わりたい。N君  
小中学校の理科教師になり子供たちにSSHで感じた理科の面白さを伝えたい

N君  
チームで協力して実験をすることの大切さを学んだ。A君  
将来は地質学の研究に携わりたい。



ヤクスギランド（2年）

したそう。今年卒業したSSHクラス先輩の感想があるので載せてみたい。科学への思いはどうなったのだろうか。



基礎生物学研究所（2年）

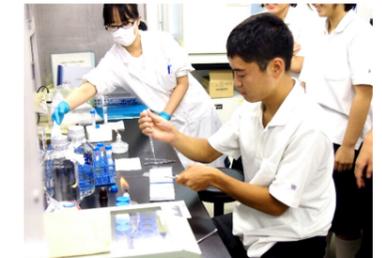
将来、プレゼンテーションの技術で自分の企画を作りたい。H君

研究所や企業へ勤め、植物の品種改良やバイオテクノロジーを利用した研究を行いたい。Y君  
人前で堂々と発表できるようになった。Sさん  
研究することの楽しさを知ったので将来は技術者として何か今までになかったものを作りたい。Hさん

それぞれ自分の進む道を決めたようだ。是非夢をかなえてほしい。



核融合科学研究所（2年）



サイエンスラボⅢ山梨大学（3年）

## イギリスに興味がある人に

日川高校の大きな行事の一つに、英国語学研修がある。本校は、イギリスのKLB校と連携しており、三月の約二週間、イギリスでの語学研修を行っている。参加した生徒の話である。

「KLB校では、英語とスペイン語の授業をしたり、歓迎とお別れパーティーをしてくれた。日本語の授業にも参加して、自分たちが生徒に教えることもあった。学校は三時に終わる。早くて驚いた。また、ホストファミリーと話したり、現地の人と遊んだり、全てが幸せで楽しかった。イギリスでは、お風呂の起源である『ローマン・バス』がオススメだから、ぜひ行って欲しい。町にはたくさんのお店があり、美味しい食べ物や食べられて、お土産も色々買える。しかし、時差ボケは大変だった。アドバイスとしては、会話表現をたくさん覚えていくこと、荷造りは早めに行き、荷造りは早めに行き、日本の文化や自己紹介文を英語で書いた。

外国で生活することに、最初は不安もあったが、毎日が新鮮で楽しかった。学ぶことがたくさんあり、貴重な経験になると共に、一生の思い出になった。さらに、この研修を通して、英語の力がついた

と感じる。もっと頑張ろうと思えた。また、宝物である友達がたくさんできた。」

外国に行き、様々なものに出会い、新たな知識が増えるというのは、とてもすてきなことだと思う。学生のうちに、このような体験ができるというのは大変貴重なことである。

さらに、十月には、KLB校の生徒が来日し、本校にやって来る。日本とイギリスとの異文化交流を通して、両国について理解を深める良い機会となるだろう。

## 新ALLET グレイス先生着任

この夏休み明けにALLETのグレイス先生が着任した。グレイス先生はイギリス出身で大学を出て間もない先生である。先生は幼い頃から日本の文化に興味があったそう。日川高校では、生徒が自信を持って英語を使えるようにお手伝いをしたいと思っています。と話していた。



グレイス・オマー二先生

一緒に勉強できることを楽しみにしています！

## 独自の奨学金制度

本校には学業・部活動の奨励のために独自の奨学金制度がある。「日川奨学金」「赤尾奨学生」「山岡サイエンス奨学生」「部活動後援会奨学生」「黒澤亮平教育振興会」「中村公卿奨学会奨学金」などである。今年も七月二十一日（金）に「赤尾」「日川」「山中」の各奨学金が三十八名の生徒に授与され、全校生徒から拍手を浴びた。



奨学生授与式の様子

たとえ「赤尾奨学生」は本校卒業生の旺盛

# 体育部も文化部も、熱い夏!

## ウエイト 澤登健太郎君、高校日本一に!!



ウエイト競技は八月二日〜六日、福島市で行われ、

### ウエイトリフティング部

澤登健太郎君、八五kg級の青柳風太君が出場した。



女子ハンド全員集合

### 女子ハンドボール部

私たちは「日本一」を目標にして練習しています。本番は練習時間に比べ一瞬で終わってしまいます。その一瞬に悔いが残らないようにするため、日頃の練習を大切にしています。

(二年 矢崎 佳奈)



頼もしい代表の3人

### 体操部

全国の高いレベルの中で良い雰囲気でした。自分で自分たちの実力が足りないと思っていますが、これから良い結果を残していけるよう頑張りたいです。

(二年 三枝 大祐)



県高校総体の時の写真

### 自転車競技

今年度が初のインターハイ出場でした。結果を残すことはできませんでしたが、今回出場したことで全国のレベルを知ることができました。この経験を今後活かして、日本一を目指します。

(二年 武井 稜哉)

## インターハイ出場

優勝を決めた瞬間! 嬉しい ニュース である。 昨年のリ オデジャ ネイロピ ヲクに出場 した中山 陽介先輩 に続いて、 東京オリ ンピック を目指し てほしい。

澤登君は、スナッチ2位、クリーンアンドジャーク1位でトータル優勝を果たした。とうとう高校日本一に輝いたのである。私たちにとって嬉しいニュースである。昨年、リオデジャネイロオリンピックに出場した中山陽介先輩に続いて、東京オリンピックを目指してほしい。

## 全国高等学校総合文化祭参加

### 音楽部



会場前で記念撮影

音楽部は山梨県合同合唱団として参加し、よりよい演奏のために百人が同じ目標を持って声を響かせました。総文祭は私たちを成長させ、様々なものと繋いでくれました。この経験を後輩たちにも繋いでいきたいです。

(三年 保坂なな美)

### 新聞部



石巻市取材の様子

新聞部門は七月三十一日から八月三日まで仙台市で行われました。各県の生徒と班を作り「交流新聞」を作りました。取材、編集を通して、レイアウトや記事の書き方等学びました。東日本大震災の復興の今の姿などを取材しました。

## NHK杯全国放送コンテスト

### 放送部

この夏、朗読部門とテレビドキュメント部門に参加しました。僕は、朗読部門に出場しました。朗読は全くの初心者でしたが、全国という大きな舞台に立ててとても嬉しかったです。

全国の放送部員の素晴らしい朗読を聞いて、とても参考になりました。来年、もっと頑張ります。

(一年 初鹿野 海雄)

## 紫風祭

六月三十日、七月一日の二日間にわたって「スパークル」のテーマのもと、第六十七回紫風祭が開催された。各クラス、各学年それぞれ工夫して楽しい紫風祭を創り上げた。

文化局クラブにとって紫風祭は日頃の成果を発揮する場だ。吹奏楽部、演劇部、音楽部の発表、その他、各部の展示には力が入っていた。紫風祭を成功させるためにはたくさんの準備が必要で、困難を乗り越えていかなければならない。そんな中でクラスの団結が強まり、絆が生まれ、友情が深まっていく。全クラスがステンドグラスとクラス旗を作成し、クラス発表(演劇・ダンスパフォーマンス)とともに優勝を目指す。そのほかに1年生はクラス企画、2、3年生は模擬店



それぞれのクラスの旗を掲げて



ステンドグラス作品

と日川コレクション(ファッションコンクール)もある。女装コンテストなど、楽しい企画もたくさんあるので来年をお楽しみに!

## 前庭の銅像はだれ?

日川高校の前庭の銅像について。これは、日川高校初代校長の中川太郎先生の像である。中川先生は、札幌農学校で、学ばれていた。札幌農学校は、「少年よ大志を抱け」という言葉を残した、クラーク博士の学校だ。この像は、中川先生の功績を讃えるために作られた。

像の下には、漢文が刻まれている。訳すと、「中川先生は札幌農学校で学んだ後、本校初代校長となり、立派な人材を輩出した。考えは高く優れており、寡黙の中にも温情に溢れた人だ。生徒はこの徳に感化され、敬慕し、記念にこの像を建てた。」



先生がいかに博識多才で謹厳実直だったかが分かる。皆さんも、本校を見守り続けている先生に、是非会いに来て欲しい。

お知らせ (受験生の方へ) スクールツアー 十月二十二日9時半〜